

2011年10月5日  
時間 11:45～12:30  
衆議院議員 大畠章宏

住宅産業振興連盟セミナー

## 「3.11 東日本大震災と日本再建」

1. 3.11 東日本大震災への国交省対応

2. 災害に強い国土づくり

### 【配布資料】

- 資料1 「3.11 大震災の復旧復興について」
- 資料2 応急仮設住宅着工完成戸数の推移
- 資料3 東日本大震災初動の記録 災害時ノウハウ集  
「いざという時に役立つ 88の工夫とノウハウ」

< 3.11 大震災の復旧復興について >

(地震の概要)

発生日時 平成23年3月11日(金)14時46分

地震の規模 マグニチュード9.0

人的被害 死者15,763名 行方不明者4,280名(9月5日時点)

1) 東北地方整備局・運輸局の緊急対応

- ① 東北地方整備局、東北運輸局は、発災直後に非常態勢を組んで24時間体制、不眠不休で被災者への支援、応急復旧活動等を実施。全国の地方整備局等からもTEC-FORCEが応援派遣(8月28日現在延べ18,072人)
- ② 東北地方整備局は、市町村の依頼により所管にかかわらず幅広い救援物資を調達。(例:仮設トイレ、おむつ等)
- ③ 東北運輸局では、高速バスなどの代替輸送や緊急物資の輸送を確保するため、地方公共団体や関係事業者等との連絡・調整を実施。また、自動車検査証の有効期間の伸張、避難所等での移動自動車相談所の開設など被災地の状況に応じた対応を実施。

2) 水・食料・ガソリン等

- ① 全日本トラック協会の協力、日本海側迂回ルート経由でのコンテナ列車運行等、多様なルート・手段により食料品、飲料水等の緊急物資を輸送。
- ② 燃料について、発災直後から日本海側港湾へタンカーで輸送。太平洋側港湾では、3月21日の仙台塩釜港を皮切りに、順次入港。JR貨物では、東北線不通の間、日本海側ルートでの石油列車を臨時運行。

3) 道路・鉄道・空港・港湾の復旧

道路の「くしの歯作成」(※)を始め、陸海空の全方面作戦により、緊急交通・物流ルートを確保。

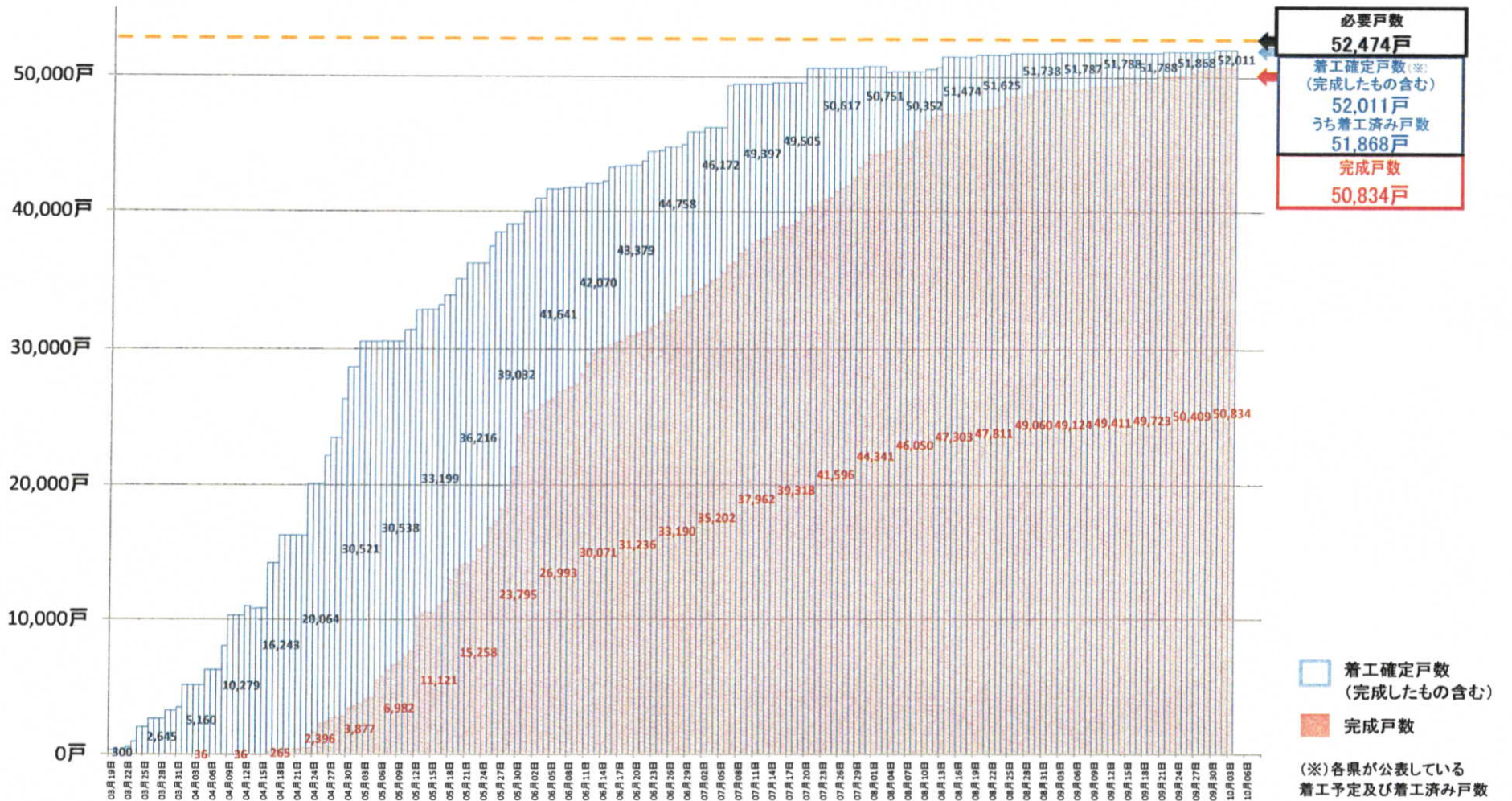
※ 道路の復旧経緯

- ・発災1日後:東北道(浦和IC~碓ヶ関IC)及び常磐道(三郷JCT~いわき中央IC)で緊急車両の通行を可能
- ・発災7日後:道路啓開作業をほぼ終了
- ・発災13日後:東北道全線で一般車両の通行を可能
- ・発災21日後:常磐道全線で一般車両の通行を可能(原発規制区間を除く)



# 応急仮設住宅 着工・完成戸数の推移

住 宅 局  
平成23年10月3日  
10時00分現在



**東日本大震災 初動の記録**

# **災害時ノウハウ集**

**!!! いざという時に役立つ  
88の工夫とノウハウ**

**平成 23 年 8 月 24 日**

**国土交通省**

**緊急災害対策本部**